平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名　ワイエスフード株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3358　URL　http://www.ys-food.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 緒方　正憲
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 岩下　征吾　TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,683	△24.0	9	△63.8	2	△82.8	△48	―
24年3月期第3四半期	2,214	△8.1	26	△79.0	16	△85.2	△81	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△44百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△67百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△1,294.14	―
24年3月期第3四半期	△2,171.74	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,027	2,004	49.8	53,702.93
24年3月期	4,118	2,049	49.8	54,899.30

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　2,004百万円　24年3月期　2,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期末につきましては、今後の経営環境が不透明であることから、現時点では未定としております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,409	△15.2	74	170.4	64	338.6	25	―	671.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、【添付資料】P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	38,730 株	24年3月期	38,730 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,400 株	24年3月期	1,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	37,330 株	24年3月期3Q	37,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、12月の政権交代による経済政策への期待感から、為替相場の円安、株式市場の上昇等回復の兆しが見受けられるようになったものの、中国をはじめとする新興国の景気減速などにより、全体的に停滞感が強まる状況となりました。

外食産業におきましても、デフレ基調の長期化や雇用・所得環境の低迷などから、消費者の節約志向が依然として強く、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは「一杯のラーメンをお客様に満足していただく」という創業当時からの理念にのっとり、「美味しさと快適な食の空間」の追求はもちろん、引き続き「接客マナーの向上」、「店舗クリーンネスの徹底」を積極的に取り組むことで、お客様一人一人に誠実であり続けることに、より一層推進してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が直営店のＦＣ転換による影響で前年同四半期に比べ530百万円減収し1,683百万円となりました。利益面につきましては、社員独立支援を積極的に行ったことにより固定費が圧縮され、営業利益９百万円（前年同四半期比63.8%減）、経常利益２百万円（同82.8%減）の減益となりました。

四半期純利益につきましては、法人税等の計上が48百万円あったことから四半期純損失48百万円（前年同四半期は四半期純損失81百万円）となりました。

今後も、国内景気の動向により収益及び利益が大きく影響を受けない企業体質への改善を積極的に行うことはもちろん、海外におきましても、引き続き複数国に対して積極的な出店を行うことで安定的な外貨獲得を目指し、今後も低調な推移が予測される国内景気を踏まえて、各対策を計画的に実施してまいります。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(外食事業)

当第３四半期連結累計期間における外食事業におきましては、全国誌を媒体とした「ギョウザ100円キャンペーン」をはじめとする各種セールを実施することで、「山小屋」、「ばさらか」のブランディングの向上と来店客数の増加に努めることで収益体質の強化を図り、店舗モニタリングの継続、接客マナーの向上、店舗クリーンネスの徹底に積極的に取り組み、店舗体質の改善に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が11店舗(直営店２店舗、ＦＣ店２店舗、海外７店舗)、契約満了を含む店舗の閉鎖が12店舗(直営店１店舗、ＦＣ店８店舗、海外３店舗)、直営店からＦＣ店へ変更した店舗が９店舗あったことから、当第３四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ１店舗減少して152店舗（直営店20店舗、ＦＣ店111店舗、海外21店舗）となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,554百万円（前年同四半期比25.4%減）、営業利益53百万円（同23.3%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は41百万円（同5.3%減）、営業利益18百万円（同18.0%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第３四半期連結累計期間における外販事業の売上高は83百万円（同2.1%減）、営業損失27百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は872百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が100百万円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は3,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ８百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が11百万円増加したものの、無形固定資産が17百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円の減少となりました。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は995百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が15百万円減少したものの、１年内返済予定の長期借入金が28百万円増加したこと等によるものであります。また、固定負債は1,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が54百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円の減少となりました。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が48百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資産比率は49.8％（前連結会計年度末は49.8％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成24年５月15日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、金額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,230	515,565
売掛金	112,304	135,491
有価証券	10	10,010
商品及び製品	124,025	118,462
仕掛品	4,152	3,813
原材料及び貯蔵品	24,402	26,731
その他	75,250	63,632
貸倒引当金	△718	△872
流動資産合計	955,658	872,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137,982	1,154,518
機械装置及び運搬具（純額）	90,017	82,165
土地	1,566,172	1,567,142
その他（純額）	34,385	36,188
有形固定資産合計	2,828,557	2,840,015
無形固定資産		
のれん	39,851	24,907
その他	12,979	10,905
無形固定資産合計	52,830	35,812
投資その他の資産		
投資有価証券	31,116	24,808
繰延税金資産	104,059	82,555
敷金及び保証金	149,804	139,441
その他	12,256	51,113
貸倒引当金	△15,821	△19,210
投資その他の資産合計	281,414	278,708
固定資産合計	3,162,802	3,154,536
資産合計	4,118,461	4,027,372

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,158	110,464
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	391,732	420,031
未払法人税等	30,696	15,623
賞与引当金	13,012	11,257
ポイント引当金	5,878	3,523
資産除去債務	1,000	950
その他	237,635	233,970
流動負債合計	985,114	995,821
固定負債		
長期借入金	807,514	752,921
退職給付引当金	77,363	72,950
役員退職慰労引当金	45,850	47,492
資産除去債務	44,308	49,011
その他	108,919	104,444
固定負債合計	1,083,956	1,026,820
負債合計	2,069,070	2,022,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	266,831	218,520
自己株式	△29,400	△29,400
株主資本合計	2,039,231	1,990,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,159	13,809
その他の包括利益累計額合計	10,159	13,809
純資産合計	2,049,391	2,004,730
負債純資産合計	4,118,461	4,027,372

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	2,214,590	1,683,857
売上原価	729,985	720,856
売上総利益	1,484,605	963,000
販売費及び一般管理費	1,458,248	953,468
営業利益	26,356	9,532
営業外収益		
受取利息	656	626
受取配当金	89	88
協賛金収入	585	1,538
違約金収入	602	2,871
その他	3,881	3,152
営業外収益合計	5,815	8,276
営業外費用		
支払利息	14,403	13,256
その他	889	1,649
営業外費用合計	15,293	14,905
経常利益	16,878	2,902
特別利益		
固定資産売却益	35	54
特別利益合計	35	54
特別損失		
固定資産除却損	6,552	1,156
減損損失	78,307	1,273
敷金及び保証金解約損	2,744	－
特別損失合計	87,604	2,430
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△70,690	527
法人税、住民税及び事業税	27,226	18,778
法人税等調整額	△16,845	30,058
法人税等合計	10,381	48,837
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△81,071	△48,310
四半期純損失（△）	△81,071	△48,310

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△81,071	△48,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,201	3,649
その他の包括利益合計	13,201	3,649
四半期包括利益	△67,870	△44,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,870	△44,660
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,084,618	43,591	85,086	2,213,296	1,293	2,214,590	－	2,214,590
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10,133	117	3,405	13,656	－	13,656	△13,656	－
計	2,094,752	43,708	88,491	2,226,952	1,293	2,228,246	△13,656	2,214,590
セグメント利益又は損失（△）	70,119	15,715	△19,321	66,513	142	66,656	△40,300	26,356

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△40,300千円には、セグメント間取引消去3,374千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,675千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、78,307千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	外食事業	不動産賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,554,636	41,302	83,297	1,679,236	4,620	1,683,857	－	1,683,857
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	11,894	117	2,942	14,954	－	14,954	△14,954	－
計	1,566,531	41,419	86,239	1,694,190	4,620	1,698,811	△14,954	1,683,857
セグメント利益又は損失（△）	53,786	18,541	△27,683	44,644	633	45,277	△35,745	9,532

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△35,745千円には、セグメント間取引消去873千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,619千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,273千円を減損損失として特別損失に計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。